

法人インターネットバンキング ご契約者様

Internet Explorer 11 で電子証明書の取得・更新ができない事象について

本年、1月中旬頃より「Internet Explorer 11」（以下、「IE11」）で電子証明書の取得・更新ができないという問い合わせが多くなっております。

本事象は、Microsoft社におけるEdgeの仕様変更によるもので、IE11を起動すると自動的にEdgeが起動するような設定となっており、Edgeに切り替わった状態で電子証明書の取得・更新を行おうとしているためと思われます。

（Edgeで取得・更新すると“RA006”エラーとなります。）

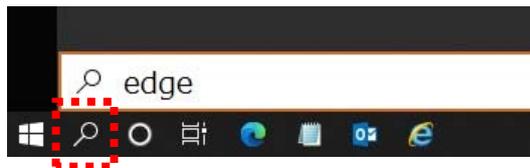
電子証明書の取得・更新はこれまでどおりIE11のみ可能であるため、お手数ではございますが、IE11からEdgeへ自動的に切り換えさせないための設定を以下の設定手順により実施したうえで、電子証明書の取得・更新を行っていただきますようお願い申し上げます。

【 設定手順 】

① Edgeブラウザの起動

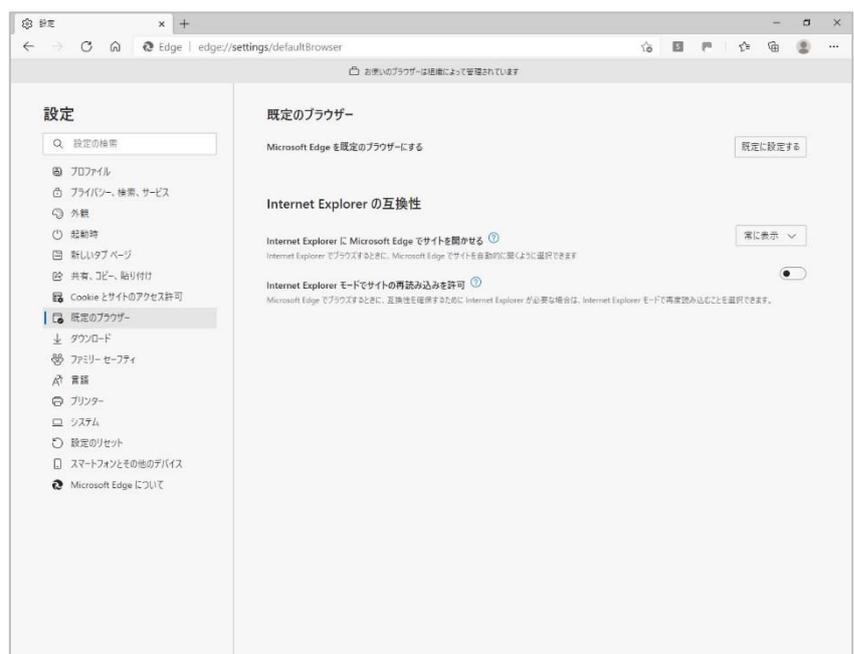
デスクトップのアイコンをクリックするか、若しくは、スタートボタン右側にある検索により“edge”と検索のうえEdgeブラウザを開きます。

- Edgeアイコン
- 検索による起動方法



② Edgeブラウザの設定画面を開く

Edgeブラウザが起動したら、画面右上にある「・・・」をクリックするとサブメニューが表示されますので“設定”を選択します。



③ 「既定のブラウザ」画面の表示

設定画面が表示されたら、左側にある設定項目のメニューより「既定のブラウザ」を選択します。



!? 「既定のブラウザ」の表示が見つからない場合

見つからない場合は、Windows10のアップデート「20H2」の更新がされていないと思われます。

アップデートすることにより「既定のブラウザ」のメニュー表示がされるようになりますが、**アップデートによりお客様がご利用されている他のソフトやシステムに影響をおよぼす可能性があります**ので、お取引されておりますシステム管理会社等へご確認のうえアップデートを行って下さい。

《 アップデート方法 》

「スタート」⇒「設定」⇒「更新とセキュリティ」⇒「更新プログラムの確認」

※詳細手順は、Microsoft社のホームページをご確認願います。
(<https://support.microsoft.com/>)

④ 「既定のブラウザ」の設定

「既定のブラウザ」の設定の「Internet ExplorerにMicrosoft Edgeでサイトを開かせる」設定のプルダウンメニューから“**なし**”を選択します。



⑤ Edgeブラウザの終了とIE11の起動

Edgeブラウザを終了し、IE11を起動させEdgeブラウザが起動しないことを確認してください。
起動しないことを確認したうえで、電子証明書の取得・更新を行って下さい。

以上